

コラージュ療法とアセスメントの実際

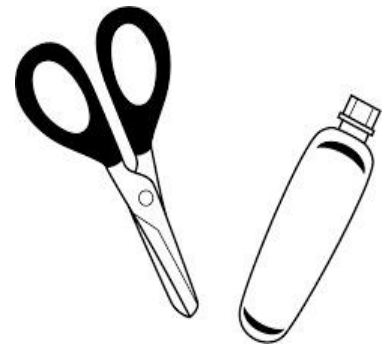
コラージュ療法は非常に簡便に実施でき、作品を作ること自体にカタルシス効果があるため、様々な臨床場面で活用できる方法だと言えるでしょう。

しかし、できあがった作品を読み解くことは容易ではありません。通常セラピストは作品についてのコメントや連想をクライアントに求めますが、実際の臨床現場では言語的な表現が不得手なクライアントも多く、できあがった作品をクライアントと共に味わうことのみで終わることも少なくありません。どのようにして作品をクライアント理解につなげていくか、ここにコラージュのアセスメントを学ぶ必要性があります。

そこで本講座では、コラージュ療法を実施する際の留意点から、制作時の観察ポイント、基本的な作品の読み方とその応用まで、実際に参加者の皆さんと作品を作りながら学びます。

内容（予定）

- 1) 制作準備段階での留意点
コラージュ制作時の心の動きと観察ポイント
- 2) 作品の読み方
(空間象徴理論・作品の主軸・テーマの分析)
- 3) うつ・統合失調症患者さんの作品の特徴



日時：全3回 ① 2018年5月20日（日）15:00～18:00
② 2018年6月17日（日）15:00～18:00
③ 2018年7月15日（日）15:00～18:00

※各回ともコラージュの作成を行う予定です。

コラージュ制作に使用したい雑誌、はさみとのりをご準備下さい

場所：ソンディ心理学研究所を予定しています

講師：松浦 祐子（臨床心理士）

参加資格：臨床心理士、相談員、教育相談担当者など

参加費：12000円

※お申込み・問い合わせは下記メールアドレスにご連絡下さい。



ソンディ心理学研究所